

議会活動報告

第10回 議会報告 2014年6月

輝きつつける明日へ

〒313-0113 常陸太田市高柿町258番地 Tel/Fax 0294-76-2019 http://hirayama-masakuni.net

ひら やま まさ く に

常陸太田市議会議員 **平山晶邦**



皆さんと共に考えたい！
常陸太田市が今後直面していく課題・問題

1 財政問題について

地方交付税は21億円減額されます

平成27年から32年までに、地方交付税が、段階的に約21億円減額されます。年平均4～5億円の歳入が減ることになります。

常陸太田市の財政力指数は、県内44市町村の中で41番目の最低に近い0.41です。国からの地方交付税の減額は、直接的に大きな影響を及ぼします。

また、人口減少に伴う市税の歳入も減少することが予想され、常陸太田市の財政問題は今後、最大の問題になってくるという認識を私は持っております。今後、増大する社会保障費を確保しながら、どうしたら予算編成ができるかを議会活動の中で訴えてまいります。

国民健康保険特別会計が前年より1億円、介護保険特別会計が4億円増えて、今後も拡大します。社会保障費を確保するための予算編成は今後の課題になります。

平成26年度 会計別予算総括表 (単位:千円)

会計区分	本年度予算額	前年度予算額	比較	対前年度増減率	
一般会計	23,040,000	23,132,000	△ 92,000	△ 0.4%	
国民健康保険特別会計	6,005,721	5,899,778	105,943	1.8%	
後期高齢者医療特別会計	638,241	615,868	22,373	3.6%	
介護保険特別会計	5,354,701	4,947,390	407,311	8.2%	
下水道事業特別会計	1,296,041	1,393,110	△ 97,069	△ 7.0%	
農業集落排水事業特別会計	348,085	334,269	13,816	4.1%	
戸別合併処理浄化槽設置整備事業特別会計	148,489	177,934	△ 29,445	△ 16.5%	
簡易水道事業特別会計	314,314	294,914	19,400	6.6%	
水道事業会計	収益的支出	1,329,646	1,092,947	236,699	21.7%
	資本的支出	575,954	2,120,662	△ 1,544,708	△ 72.8%
工業用水道事業会計	収益的支出	66,910	56,003	10,907	19.5%
	資本的支出	36,132	44,291	△ 8,159	△ 18.4%
合計	39,154,234	40,109,166	△ 954,932	△ 2.4%	

2 人口減少問題について

10年前から人口減少は想定されていました

合併後10年間の人口推移

各年とも1月1日の人口です

年	人口	現役世代(18～60歳)	人口に対する現役世代の割合
17	60,549人	31,118人	51.3%
18	59,712人	30,439人	50.9%
19	59,038人	30,150人	51.0%
20	58,461人	29,855人	51.0%
21	57,591人	29,105人	50.5%
22	56,907人	28,460人	50.0%
23	56,154人	27,631人	49.2%
24	55,259人	26,975人	48.8%
25	54,375人	26,180人	48.1%
26	53,547人	25,370人	47.3%
17年から26年まで	▲ 7,002人 ▲ 11.6%	▲ 5,748人 ▲ 18.5%	

私は、合併当初から常陸太田市の人口減少問題を提起してまいりました。やっと2年前から、執行部も子育て支援策を実施しておりますが、人口が減少することは、各種の数字から想定できたことであり、そのような中では、2年前からの子育て支援策等は遅かったなという考えを持っています。しかし、若者が住んでもらえるような子育て支援策の継続は大切なことです。これからも、議会の場で応援をしていきたいと考えています。今、常陸太田市が取り組まなければならないのは、交流人口の拡大などではなく定住人口の促進であるということをあらためて申し上げて、積極的に人口減少問題に取り組みたいと思います。

卸・小売業者数と販売額の推移

年	卸・小売業社数	年間商品販売額
16	676社	537億円
24	424社	341億円
16～24年の比較	▲ 252社	▲ 196億円

販売額が200億円近く落ち込んでいるのは、商工行政の危機です。

65歳以上が50%を超えている町会数(限界集落)

太田地区	金砂郷	水府	里美
5	0	0	0

65歳以上が40%を超える町会数

太田地区	金砂郷	水府	里美
12	4	8	1

現役世代の減少率が大きいことは、税収が少なくなり、地域の活性化にとって大きな問題です。若年女性の減少は、再生産力が低下し続け、人口減少に歯止めがかかりません。

若年女性(20～39歳)減少 22年から64.3%減

22年 4,849人 → 26年 4,159人 → 52年 1,731人

※52年の数値は日本創成会議・人口減少問題検討分科会による試算

3 行財政改革について

公共施設の維持費は年間17億円



行財政改革を進める常陸太田市役所

常陸太田の施設、市役所、学校等の公共施設の水道光熱費などのランニングコストは、年間約17億円かかっています。今の財政規模から考えると、これから30年間の間に、6割くらいの施設しか持つことができません。施設の統廃合等を進める必要があります。行財政の一層のスリム化を図る必要があります。

新たな施設やハコモノ行政を、常陸太田市が持つことは十分に検討されなければなりません。私が反対した複合交流拠点施設(道の駅事業)など、行政がレストランやフードコートを経営しランニングコストのかかる新たな施設には、今でも問題があると考えています。

4 災害に強い街づくり 気象の変化は急激に進んでいる、防災対策は待ったなし

今、世界は、地球規模の温暖化により様々な気象の問題がおきています。行政は市民の生命・財産を守ることは、第一義の使命です。今後想定されるあらゆることを考えて、**市民の安全・安心を守る街づくり**を進めていかなければならないと考えています。防災・減災対策は、本市の進めていく、待ったなしの重要な施策だと考えています。

3.11東日本大震災で壊滅的な被害を受けた金砂郷小学校体育館▶



5 住む人が幸せを感じる街づくり 生活道路の整備は早めなければなりません

常陸太田市の市道の舗装整備率は県内の中で最低です。市民の皆さんの前の道路がまだ舗装されていないところがあります。市道という生活道路が舗装もされていない地域に、若い人は家を建てるでしょうか。市道の改良・改修は、一時的に**多くの予算を使っても早急に進める必要がある**と考えます。特に通学道路の整備は、少子化の中で、児童・生徒の安全を最優先し、より早い対策を講じていかなければならないと思います。

自動車がすれ違うことができない瑞龍中学校の通学路▶



6 教育・歴史・文化・環境を活かした街をつくる 他の市町村にはない地域力を

常陸太田市が他の市町村と比較して、優位性があるのは、1900年に設立された旧制太田中から続く歴史ある教育の街、佐竹・徳川から続く歴史文化の街、そして、森林が多く、一級の河川が3本もある自然豊かな街だと思います。これら、他の市町村にはない**地域力を活かした街づくり**をしていかなければならないと考えます。

県立特別支援学校予定地にある「瑞桜」▶



仲間と共に 勉強、勉強・そして前進



20年来の友人の市原つくば市長から国際戦略特区等を含めつくばの街づくりについて説明を受ける



副村長時代から仲間であった山田東海村長と、人口増の東海村の現状と行政について説明を受け意見交換をする



市議会議員時代から仲間であった大塚桜川市長と街づくりと公設民営の病院事業の説明を受け医療法人経営のノウハウをアドバイスする



つくばサイバーダイナミクス社製サイボーグ型ロボットHAL見学



パプリカの大規模栽培を行う株式会社Tedy 林社長と、これからの農業経営について意見交換を行う



市民有志の皆さんと一緒に宮城県名取市閑上地区視察、仮設住宅の集會場で震災時の説明を受ける



菅田公民館主催の研修会に参加して、勝田特別支援学校研修視察を行う



ひらやままさくに

平山晶邦 あなたの声を市行政に活かします! 議会活動は「現場主義」好きな言葉は「正義」

太田第一高等学校卒 / 明治大学 政治経済学部卒 / 常陸太田市議会議員・産業建設委員会委員(建設・上下水道・商工・農政に関する委員会)・茨城北農業共済事務組合議会議員

<http://hirayama-masakuni.net>

